

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス事業 ころころ遊園				公表日	2024年 12月 27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係が適切であるか。	5	0	1階と2階の広いスペースを使い、利用定員に対し十分な支援スペースを確保している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	必要以上の配置を行っている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	・全館バリアフリーである。 ・写真や絵カードを使用した予定表等で配慮している。	・玄関前スロープ周辺で転倒などの危険がある。 ・遊具や掲示物等、こどもたちの意識が散漫してしまうような場所もある為、適切な整備をしていく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	・支援前に活動スペースの清掃を行っている。 ・宿題や個別活動用のスペース（和室）がある。	・早い時間からの延長支援等の事情により、支援前の清掃ができない日もあった。 ・清掃の役割分担を検討していく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・こどもたちのニーズに合わせて相談室等の使用を認めている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	ミーティング時や事務時間等に時間を見つけて話し合いを行っている。	支援の為話し合いに参加できない職員もいるため、月1回の全体ミーティングや、ミーティングノートを活用していく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	平成30年度より実施しており、集計結果をミーティング時に共有している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	意見等を言い易い環境になっていることに加え、事業所の自己評価で意見を出してもらっている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		第三者による外部評価は近年行われていないが、法人内で話し合いを行いながら実施を検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	県や社会福祉協議会主催の研修に参加している。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1	職員間で話し合いを行い、支援プログラムを作成している。今年度中に公開できる予定。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	適切に行われている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	適切に行われている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	適切に行われている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	年1回、既定のアセスメント表を含めたプロフィールの更新を行っており、それにケース記録を含めて状況を確認している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	適切に行われている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	ミーティング時に適切に行っている		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	2		現状は既存のプログラムを組み合わせることが多い。他の事業所とも情報共有を行いながら、新しい活動プログラムについても検討していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	こどもたち一人ひとりに合わせて活動を組み合わせながら支援を行うことが出来ている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	適切に行われている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2		支援後の記録入力時に振り返りを行っているが、送迎業務等で参加できない職員もいる。不在の職員の為にミーティングノートの活用を徹底していきたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	記録は徹底しており、丁寧な記入を心掛けている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	適切に行われている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	適切に行われている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	こどもたちの意思を尊重できるような支援を心掛けている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	会議の内容に応じて、児童発達支援管理責任者と担当支援者どちらかを選定し、会議に参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	自立支援協議会のこども部会を中心に、各所と連携して支援できる体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	適切に行われている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	相談支援事業所を介して情報共有を行っている。	相談支援事業所より情報をいただく時が多いが、こちらからお願いしないといけない場合に、お願いが返ってきてしまっていることもある。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	相談支援事業所を介して情報の提供を行っている。	すべての利用者についての情報が移行先に伝わっているか把握できていない。相談支援事業所と情報共有を行っている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	地域の児童発達支援センターは同法人内に設置しており、情報の共有は行うことができる。県の児童発達支援センター職員による研修も例年行われている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	地域の中高生がボランティアで来所し、関わる機会がある。	イレギュラーに地域の公園で交流することはあるが、機会の設定は行っていない。どのような交流が可能か、関係機関と情報共有していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1	自立支援協議会のこども部会を中心に参加している。今年度は相談支援部会にも招待され参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時や連絡帳を活用し、情報共有を適切に行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	同法人で早期発達支援セミナーを開催し、研修の機会を提供している。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時や重要事項説明書の改訂時に、丁寧な説明を心掛けている。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	面談や日々の情報共有の中で、適切に行っている。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	適切に行われている。		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	定期的な面談の他、いつでも相談に応じることをご家族にお伝えしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	4	ペアレントメンターによるサポートファイル書き方講座&茶話会を開催し、交流の場を提供している。	多くの人が参加できる機会は設けておらず、どのような機会が求められているのかを確認しながら、必要に応じて検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	適切に体制を整備し、迅速かつ丁寧に対応できるよう心掛けている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1	事業所だよりを発行している。	事業所だよりは年4回を予定しているが、年3回程度になってしまう年もあった為、定期的に発行できるように役割分担等確認していく。SNS等は必要性を確認し検討していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	2		職員一人ひとりが取扱いに留意しているが、建物が地域住民に開放される機会もある為、施錠等の設備を整備し、ハード面での管理もしっかりと行っていく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	適切に行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	ボランティアの受け入れを行っている。	同法人の作品展では地域の方にも開放しているが、事業所としてどのような形で行うことが出来るか検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	適切に行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1	適切に行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	利用前のアセスメントで必ず確認するようにしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	アレルギーがある際はご家族を通して対応方法の確認を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	今年度作成を行い、それに基づいた環境の中で支援を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2		ご家族への安全計画の周知が不十分だった為、周知を徹底していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	適切に共有している。法人内でフォーマットの内容についても改善を検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	法人内の権利擁護や虐待防止の担当職員からの情報を、全体ミーティングにて共有している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	現在はいないが、車イス等の身体拘束が必要な場合は、個別支援計画に記入するよう徹底している。		